

会社概要

Corporate Profile

トランスウェブの目指すもの

— 代表取締役社長 前沢 武 —

私自身、クルマ好きが高じてこの業界に飛び込んだのが1994年。2001年、とあるきっかけからトランスウェブを立ち上げ、今日までガムシャラに働いてきました。常に考えてきたのは、“どうすればお客様に喜んでいただけるか？”です。そしてそれを実現するための方法論。もちろんヤル気や情熱は大事ですが、それだけでは喜んでいただけません。

トランスウェブの車両が白で統一されているのは、お客様のブランドイメージを損なわないため。スウェーデンのメーカー、スカニア製の車両を多く導入しているのも、お客様に良いイメージを持っていただくため。運ぶ商品に合わせた車両の開発も物流の高効率化のため、結局はお客様の利益になるからです。

“今までの概念を覆し、他社とは異なる発想で差別化を図りたい”

言われたことをこなすのではなく、自ら考え実践する。そんな心意気を胸に秘め、従来の運送会社の枠に囚われることなく、トランスウェブはこれからも邁進し続けます。



事業所一覧

本社/東京営業所	〒286-0225 千葉県富里市美沢 8-5 ☎0476-91-4800
北海道営業所	〒066-0012 北海道千歳市美々 758-67 ☎0123-25-5951
仙台営業所	〒983-0002 宮城県仙台市宮城野区蒲生 1-111-1 ☎022-349-5586
名古屋営業所	〒441-8077 愛知県豊橋市神野新田町字メノ割 19-1 ☎0532-34-4555
大阪営業所	〒565-0801 大阪府吹田市青葉丘北 22-30 ☎06-6878-0011
九州営業所	〒834-0064 福岡県八女市蒲原 42-2 メゾン・ド・ブリアンC202 ☎0943-22-8925
印西PDIセンター	〒270-1609 千葉県印西市若萩 4-4 ☎0476-80-3333
印西第2PDIセンター	〒270-1609 千葉県印西市若萩 4-3-3 ☎0476-33-6364
成田PDIセンター	〒286-0221 千葉県富里市七栄 473-1 ☎0476-90-3400
コンテナヤード	〒286-0221 千葉県富里市七栄 648-32 ☎0476-85-4911

会社概要

社名	株式会社トランスウェブ
所在地	〒286-0225 千葉県富里市美沢8-5
設立	平成13年1月
資本金	20百万円
売上高	5,429百万円(令和4年度実績)
代表者	代表取締役社長 前沢 武
従業員	330名
保有車両	224台(非牽引車含む)
主要取引先	フェラーリ・ジャパン株式会社 マセラティ・ジャパン株式会社 ポルシェジャパン株式会社 アストンマーティンジャパン合同会社 マクラーレン・オートモティブ・アジア 株式会社TBSテレビ 他300社以上



チャーター

Charter Operations

大切なお客様の車両を安全・確実に
それがトランスウェブクオリティです

トランスウェブでは、お客様の車両を安全・確実にお運びするために、早くから大型トランスポーターを導入して参りました。荷室を密閉することができるトランスポーターなら積載車両が外部から見えないため、大幅にセキュリティが向上するからです。

さらにトランスウェブでは、基本的に積載車両引き取り時のトランスポーターが目的地まで責任を持ってお運びします。一般的に多くの運送会社では配送車両の効率的な運行のため、引き取り時の配送車両と引き渡し時の配送車両が異なることが多く発生します。すると積載車両の積み換えが発生し、大切なお車を傷つけてしまう可能性が高まります。

結果的にこうすることで最短の時間でお運びすることが可能となりました。そしてこのスタイルがトランスウェブの基本であり、輸送品質基準もここに置いています。

またお客様のブランドイメージを損なわないために、すべてのトランスポーターは白一色に仕上げられています。スタッフは積載時の白手袋着用や簡易シートカバー装着での乗車など、大切なお車を汚さないよう細心の配慮も忘れません。お客様の大切なお車を安全・確実に輸送するトランスウェブクオリティは日々進化し続けています。



大切なお車を汚さないための白手袋は必需品です。



弊社車両はすべて白でコーディネートされています。



簡易シートカバーやフロアマットを利用します。

ニュービークル

New Vehicle Operations

輸入高級車を1台から大量輸送まで
安全・確実に輸送します

トランスウェブでは海外からの輸入車両の新車輸送も行っています。トランスポーターも使用しますが、効率を優先する場合にはキャリアカーを用います。

とはいえ、スタッフが積載時に白手袋を着用することや簡易シートカバーの装着など、大切なお車を汚さないための細心の配慮はチャーター輸送と変わりません。またキャリアカーもお客様のブランドイメージを壊さないよう白一色に仕上げられています。

そして全国各地のディーラーへの輸送には、大型トランスポーターの出番となります。セキュリティ性能の高いトランスポーターであれば、車両が第三者によってイタズラされる可能性は限りなくゼロになります。また最新の大型トランスポーターを使用すれば、一気に4台の車両を輸送できます。車高が低いスポーツカーである必要はありません。今流行のSUVでもいいのです。

現在、複数の自動車メーカーとの契約により、年間数千台の新車輸送を行っています。そしてトランスウェブへの新車輸送のニーズはますます高まっています。



弊社の最新型キャリアカー。トランスポーター同様、白でコーディネートされ、フルサイズの乗用車5台を搭載可能な仕様です。



弊社では危険箇所の認知を徹底させるため、危険箇所はオレンジカラーで着色しています。



起こりがちな積み卸し時のアクシデントを防ぐため、安全には最大限配慮しています。



車両の固定は繊維製のタイヤップベルトで確実にいきます。

モータースポーツ

Motorsport Operations



チームスタッフとのコミュニケーションを重視しています(チームARTA様)



機材スペースだけでなく、人のためのスペースもオーダーメイドにより承ります(チームARTA様)

モータースポーツ事業は、会社の黎明期から始まった重要業務のひとつです。これまでスーパーGTやスーパーフォーミュラをはじめ、F1日本GP等で数多くの実績を重ねてまいりました。

レーシングマシンの最大の特徴は、車高が生産車とは比べものにならないくらい“低い”ことです。そのためトランスポーターにはフルフ

ラットパワーリアゲートを装備。また精密機器とも言えるレーシングエンジンやトランスミッションを守るためにエアサスペンションは必須事項と考えます。

常にレースやチームについて勉強し、単なる輸送要員の枠を越えて、チームメンバーの一員として共にレースを戦っています。

“クルマ好き”が集まるトランスウェブにとって、サーキットやレースは夢の舞台。その舞台で勝利のためにチームと一つになる喜びは、会社をダイナミックに成長させていく大きな原動力となっています。



“走る整備工場”としての役割を担います(ミシュランタイヤ様)



イベントサポート Event Support Operations

コンサート・演劇・舞踏などの舞台
日本全国のイベントをサポート!



トランスウェブの輸送事業は、高級車やレーシングカーなどクルマ輸送だけではなく、コンサートや演劇等のイベントに必要な映像機材、音響機材はもちろん、年々大がかりになっている舞台装置の輸送も業務の大きな柱となっています。

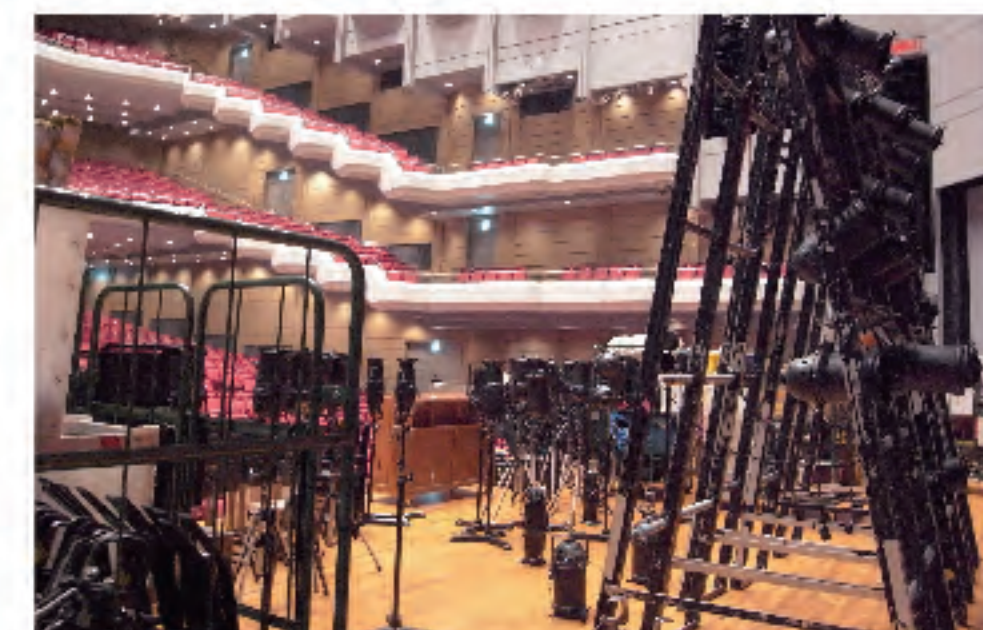
映像機材や音響機材はプロフェッショナル仕様とは言え精密機材ですので、高級車やレーシングマシン輸送のノウハウが役に立ちます。デリケートな大量の機材を迅速に設置しセットアップする、また素早く撤収しトランスポーターに積載する技術は、サーキットで磨かれたものです。

さらにステージを彩る舞台装置はその大きさから保管場所にも苦労しがちですが、トランスウェブでは一時保管場所もしっかりと確保していますので、公演中だけでなく公演のない期間も含めて全面的なサポート体制を採ることができます。

現在、著名なバレエ団の定期公演を中心に、コンサートや演劇の裏方として搬入、撤収、一時保管の一貫した輸送サービスを展開中です。



イベントスタッフとの緻密な連携を大事にしています。



機材には大がかりなものが多く安全には細心の注意が必要です。



搬入口の大きさに合わせて車両をセレクトします。

エアカーゴ事業

Air Cargo Operations



保税運送に特化した車両の開発により
コストの大幅削減を可能としました

グローバル化が叫ばれる昨今、成田国際空港と羽田空港には毎日膨大な数の貨物が集められ、通関作業が行われています。そしてあまり知られていませんが、スムーズな通関作業のために多くの貨物が両空港の間を往き来しています。これは通関前の貨物であることから、一般的に保税運送と呼ばれています。

従来保税運送の主役は大型トラックでした。しかし大型トラックでは航空貨物でポピュラーなAMAコンテナが3つしか搭載できません。さらに荷台には積載可能なスペースが余ってしまい効率的とは言えない状況でした。

トランスウェブでは、様々な特徴を持つ新型車両を用意しています。AMAコンテナの2段積載を可能とし、さらに牽引車を増やすことにより、AMAコンテナであれば5個、AKEコンテナであれば10個を一度に輸送できるキャパシティを誇る車両もあります。そのことでコストを大幅に削減することが可能となったのです。すでに運行は始まっており、その効率の高さは業界各所から熱い注目を浴びております。



トレーラーをつなぐローラーにより前の荷室にも最後尾から積載可能です。



専用車両トレーラーの開発によりコストダウンを可能としました。



コンテナ事業

Container

お客様の大切な車両を
特製コンテナで保管・輸送する新事業です

大切なお客様の車両を安全・確実に輸送するのが、トランスウェブクオリティ。そしてその品質は、この新事業によってさらに引き上げられることとなります。それがハイクオリティコンテナ事業です。

オーダーメイドの20フィートコンテナは規格化された外形寸法はそのまま、後ろ側を除く三面全てがフルオープンとなる仕様です。そのため車両積載時にもクルマのドアをコンテナ壁にぶつけるなどの事故を大幅に減らすことができます。

さらに三方向がフルオープンになるコンテナの特性を活かし、コンテナに積載したままの展示等も可能となり、イベント等幅広くご活用いただけるものと考えます。エアコン、空気清浄機の搭載を計画しており、最適な温度、湿度を保ちつつ、クリーンな空間で長期の保管も可能となる予定です。

オリジナルコンテナを積載するトレーラーも様々なアイデアが盛り込まれた弊社独自の仕様です。トレーラーヘッドにはSCANIA社製トラクターを採用しました。これはトレーラーとの接合部であるカプラーの地上高が低いため、20フィートコンテナを2個積載可能としています。

大切な車両をコンテナに乗せたまま、保管・輸送・展示が可能となるハイクオリティコンテナ事業。ただし積載物は車両だけというわけではありません。お客様のご要望に合わせ、様々な用途にご活用いただくと考えています。



PDI

お客様の笑顔のために
出荷前点検と輸送をワンパッケージで

海外から輸入されるクルマは通関した後、直ちにディーラーに並べられるわけではありません。インポーターによって入念に品質チェックされたクルマだけが、お客様の手に届けられるのです。

品質チェックには、大きく分けて2つの意味があります。ひとつは国内の車両受け入れ窓口として、車両の状態を検査し、新車としての品質を維持すること。そしてもうひとつは日本の保安基準に適合するように部品の取付や検査・改善を行うことです。こうした一連の作業は“出荷前点検”と言われ、一般的にはPDIと呼ばれています。

トランスウェブでは、2009年よりPDI事業への取り組みを開始いたしました。PDIは、海外から輸入された車両の各種検査、改善、清掃、そして出荷へと、手間と時間のかかる作業です。

2018年には、千葉県印西市に最新の設備を備えたPDIセンターを竣工し、それまで以上に高品質に、高効率に、そしてより多くの車両を送り出す体制が整いました。クルマを愛するトランスウェブだからこそ、お客様の笑顔をもっともっと増やしていきたいと考えます。



PDIでの検査・点検項目は多岐に渡ります。



熟練した検査員は、小さな不具合も見逃しません。



PDI事業に、技術の向上は不可欠です。